



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,327	28.7	202		207		555	
2020年3月期第1四半期	3,266	1.5	71		73		98	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 516百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 119百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.56	
2020年3月期第1四半期	2.90	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,052	794	9.9
2020年3月期	7,761	1,310	16.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 794百万円 2020年3月期 1,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難であることから、未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想につきましては、直近の新型コロナウイルス感染症再拡大の状況などから、その影響を現段階において合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	34,497,058 株	2020年3月期	34,497,058 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	956,869 株	2020年3月期	956,869 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	33,540,189 株	2020年3月期1Q	33,832,976 株

当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、決算補足説明資料を、この決算短信公表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた経済活動の自粛等の影響により景気が急速に悪化し、個人消費におきましても先行きが不透明な極めて厳しい状況が続いております。

当社グループでは、全都道府県に向けた緊急事態宣言に伴い多くの店舗で休業や大幅な営業時間短縮を実施しました。また緊急事態宣言解除後においては、お客様と従業員の安全確保を最優先に営業を再開させておりますが、新しい生活様式に対応した営業環境づくりを行うとともに、展示販売会の開催時期や集客方法の見直しを行うほか、店舗の管理・運営コストの削減に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は23億27百万円（前年同期比28.7%減）、営業損失は2億2百万円（前年同期は営業損失71百万円）、経常損失は2億7百万円（前年同期は経常損失73百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失については、休業・時短中の固定費等を新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に3億54百万円計上したこと等により、5億55百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失98百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

## ・美容事業

美容事業においては、前年第3四半期より連結子会社となった株式会社L. B. Gの増収影響があったものの、緊急事態宣言に伴う休業・時短営業等の営業自粛を実施した影響があり、売上高は4億41百万円（前年同期比7.7%減）、セグメント損失15百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。緊急事態宣言解除後は、店舗の消毒・換気やスタッフの健康管理・手指消毒・マスク着用の徹底、予約管理の徹底等による感染防止対策を強化しながら営業を継続しており、地域ごと進捗に差はあるものの回復基調で推移しております。

## ・和装宝飾事業

和装宝飾事業においては、前年第3四半期に事業譲受したかのこの増収影響があったものの、緊急事態宣言によるデベロッパーの休業に伴い、半数以上の店舗で休業・時短営業を余儀なくされたことや、大型展示販売会開催の延期を行った影響等があり、売上高は15億67百万円（前年同期比35.8%減）となり、セグメント損失1億58百万円（前年同期はセグメント損失28百万円）となりました。緊急事態宣言解除後のデベロッパー営業再開に合わせて、全店で営業を再開しておりますが、感染防止と顧客の安心安全のための対策を講じた売場環境づくりを実施しており、6月以降売上は回復傾向にあります。

## ・DSM事業

DSM事業においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い展示販売会の中止・延期が相次いだ影響があり、売上高は2億26百万円（前年同期比34.0%減）となり、セグメント損失39百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。一方で、外出自粛を契機にミシンや空気清浄器の需要の高まりがあり、それら商品販売が伸びており、訪問販売での営業活動にシフトしております。

## ・その他の事業

その他の事業の収益は、前年第4四半期より連結子会社となった株式会社マンツーマンアカデミーの学習塾運営収益、株式会社ヤマノセイビングの前払い式特定取引業による手数料収益及び一般社団法人日本技術技能教育協会の着物着付教室の運営収益であり、売上高は93百万円（前年同期比3537.0%増）となりましたが、セグメント損失は緊急事態宣言下での学習塾休校等の影響があり、18百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億90百万円増加し80億52百万円となりました。これは主に現金及び預金が4億95百万円増加、商品及び製品が87百万円増加し、受取手形及び売掛金が2億75百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億6百万円増加し72億57百万円となりました。これは主に、短期借入金が12億90百万円増加、長期借入金が1億22百万円増加し、支払手形及び買掛金が3億51百万円減少、前受金が1億86百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億16百万円減少し7億94百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金5億55百万円の減少、その他有価証券評価差額金39百万円の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、直近における新型コロナウイルス感染症再拡大の状況などから、その影響を現時点において合理的に算出することが困難であるため、未定といたします。

今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,064,359	2,559,393
受取手形及び売掛金	2,089,212	1,813,375
商品及び製品	1,355,976	1,443,348
原材料及び貯蔵品	6,163	5,376
その他	338,594	316,705
貸倒引当金	△20,745	△19,271
流動資産合計	5,833,562	6,118,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,176,823	1,185,389
減価償却累計額	△724,398	△729,978
建物及び構築物(純額)	452,424	455,411
機械装置及び運搬具	10,707	10,508
減価償却累計額	△6,449	△6,605
機械装置及び運搬具(純額)	4,257	3,903
工具、器具及び備品	264,118	267,787
減価償却累計額	△221,452	△225,451
工具、器具及び備品(純額)	42,665	42,336
土地	40,211	40,211
リース資産	68,755	68,755
減価償却累計額	△33,837	△36,217
リース資産(純額)	34,917	32,537
建設仮勘定	744	744
有形固定資産合計	575,222	575,145
無形固定資産		
のれん	204,344	185,911
その他	21,290	21,439
無形固定資産合計	225,635	207,350
投資その他の資産		
投資有価証券	142,190	177,520
長期貸付金	5,199	4,868
敷金及び保証金	942,912	929,793
繰延税金資産	1,887	2,221
その他	49,105	50,715
貸倒引当金	△14,244	△14,208
投資その他の資産合計	1,127,051	1,150,910
固定資産合計	1,927,909	1,933,406
資産合計	7,761,471	8,052,334

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,485,556	1,133,665
電子記録債務	218,678	196,348
短期借入金	770,000	2,060,000
1年内償還予定の社債	17,400	8,400
1年内返済予定の長期借入金	242,859	253,498
未払金	493,979	675,433
前受金	1,378,001	1,191,432
未払法人税等	56,094	7,172
賞与引当金	91,971	27,023
ポイント引当金	27,535	27,363
株主優待引当金	5,166	5,166
資産除去債務	7,828	8,416
その他	452,359	351,898
流動負債合計	5,247,430	5,945,818
固定負債		
社債	9,600	5,400
長期借入金	682,358	804,744
長期末払金	83,100	75,236
退職給付に係る負債	25,434	23,762
役員株式給付引当金	23,991	23,991
繰延税金負債	12,783	13,357
資産除去債務	311,543	312,667
その他	54,301	52,548
固定負債合計	1,203,111	1,311,707
負債合計	6,450,542	7,257,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	979	979
利益剰余金	1,370,659	815,261
自己株式	△101,553	△101,553
株主資本合計	1,370,085	814,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,156	△19,879
その他の包括利益累計額合計	△59,156	△19,879
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,310,929	794,808
負債純資産合計	7,761,471	8,052,334

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,266,368	2,327,994
売上原価	1,577,371	1,221,025
売上総利益	1,688,996	1,106,968
販売費及び一般管理費	1,760,566	1,309,210
営業損失(△)	△71,570	△202,241
営業外収益		
受取利息及び配当金	261	70
受取地代家賃	438	600
助成金収入	-	3,271
その他	1,513	1,981
営業外収益合計	2,213	5,924
営業外費用		
支払利息	1,986	3,710
その他	2,247	7,783
営業外費用合計	4,233	11,493
経常損失(△)	△73,591	△207,811
特別利益		
雇用調整助成金	-	26,944
その他	-	484
特別利益合計	-	27,428
特別損失		
固定資産除却損	17	0
減損損失	-	8,812
固定資産撤去費用	4,665	-
投資有価証券評価損	-	3,853
店舗閉鎖損失	961	459
新型コロナウイルス感染症による損失	-	354,476
特別損失合計	5,644	367,602
税金等調整前四半期純損失(△)	△79,235	△547,985
法人税、住民税及び事業税	17,072	7,173
法人税等調整額	1,899	239
法人税等合計	18,972	7,412
四半期純損失(△)	△98,207	△555,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△98,207	△555,398



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△98,207	△555,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,588	39,277
その他の包括利益合計	△21,588	39,277
四半期包括利益	△119,796	△516,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119,796	△516,121
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

2019年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が47,565千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が101,553千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	美容	和装宝飾	D S M	計
売上高				
外部顧客への売上高	477,836	2,442,481	343,491	3,263,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	216	225
計	477,845	2,442,481	343,707	3,264,034
セグメント損失(△)	△1,817	△28,830	△21,250	△51,898

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	2,558	3,266,368	—	3,266,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,537	2,762	△2,762	—
計	5,096	3,269,131	△2,762	3,266,368
セグメント損失(△)	△1,966	△53,865	△17,704	△71,570

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△17,704千円には、のれん償却額△13,616千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,088千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	美容	和装宝飾	D S M	計
売上高				
外部顧客への売上高	441,228	1,567,174	226,536	2,234,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	441,228	1,567,174	226,536	2,234,939
セグメント損失(△)	△15,575	△158,346	△39,624	△213,546

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	93,054	2,327,994	—	2,327,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,662	1,662	△1,662	—
計	94,717	2,329,657	△1,662	2,327,994
セグメント損失(△)	△18,125	△231,671	29,429	△202,241

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他の事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額29,429千円には、のれん償却額△18,433千円、各報告セグメントに配分していない全社費用47,856千円及び棚卸資産の調整額6千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	美容	和装宝飾	D S M	その他	全社・消去	合計
減損損失	2,165	6,646	—	—	—	8,812

(重要な後発事象)

該当事項はありません。